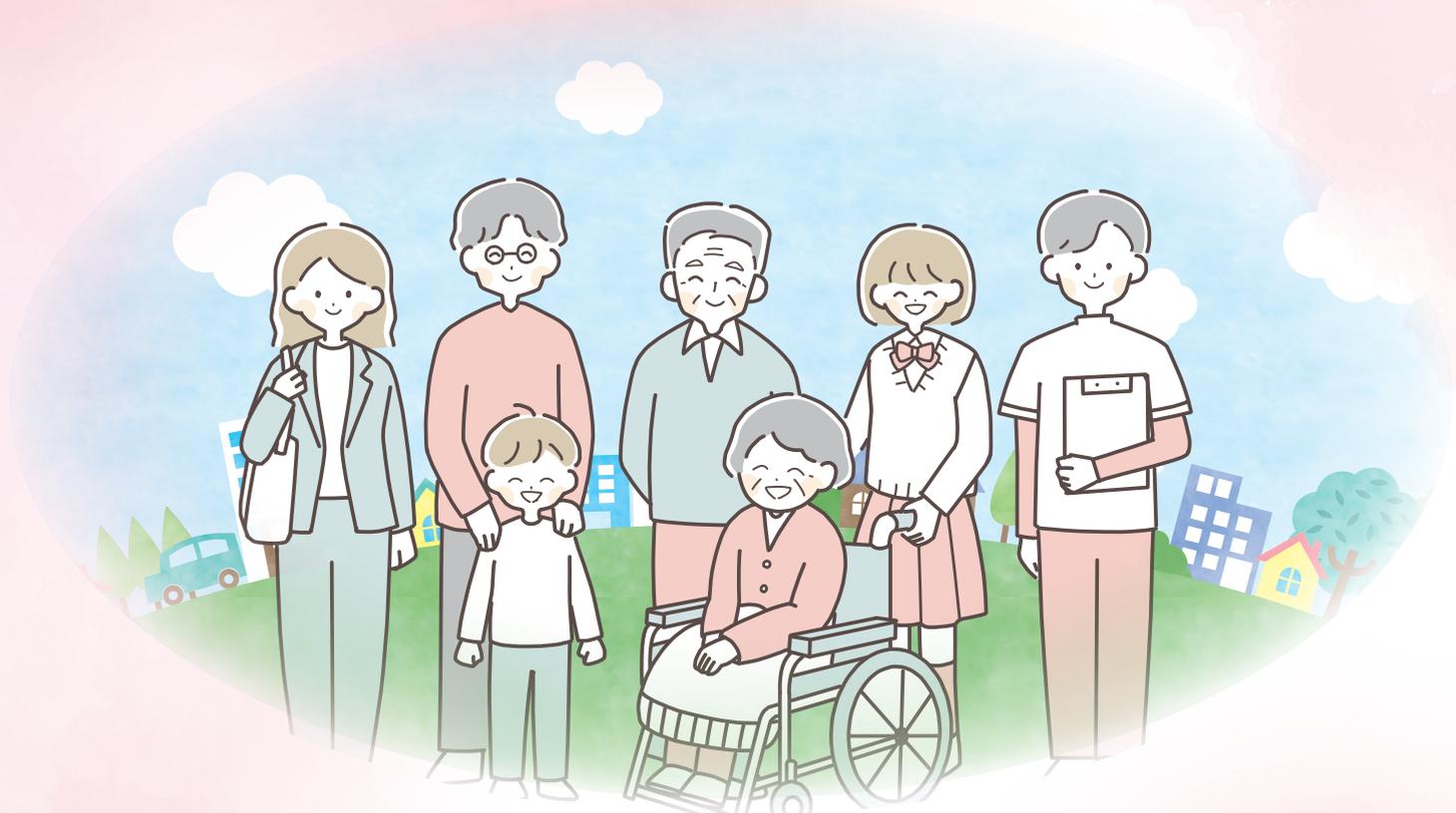


第2期 宇陀市 地域福祉計画・地域福祉活動計画



オール宇陀で取り組む
面倒見のいい地域福祉コミュニティ

令和7年3月

宇陀市

宇陀市社会福祉協議会

ごあいさつ



このたび、第1期計画の目指す将来像「オール宇陀で取り組む面倒見のいい地域福祉コミュニティ」を引継ぎ、宇陀市第2期地域福祉計画・地域福祉活動計画を策定いたしました。日本全国において、少子高齢社会、働き方改革、社会的孤立といった多岐にわたる社会問題が深刻化している中、本市も例外ではなく、市民一人ひとりが安心して暮らせる地域社会を築くために、具体的かつ実効性のある福祉施策が求められています。

第2期計画では、高齢者はもとより、子育て支援、障がい者支援、地域コミュニティの強化、さらには住民同士が支え合う地域ネットワークの推進に重点を置いています。また、複雑化・複合化した課題や、災害時における取組、そしてデジタル技術を活用したサービスの提供など、新しい時代に対応した施策も盛り込んでいます。

すべての世代が「安心」と「誇り」をもって互いに助け合い、心豊かに住み続けたいと思える宇陀市にするために、本計画を基に、誰ひとり取り残されない地域、誰もが何らかの形で社会に参加できる地域を目指して、関係機関、地域の皆様と行政が一体となり相互に協力・連携しながら、取り組んでまいりましょう。市民の皆様には、これからも引き続きご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、本計画策定にあたり、ご尽力いただきました渡辺委員長をはじめとする策定委員の皆様、またアンケート調査やワークショップ参加を通じて貴重なご意見・ご提言をいただきました多くの市民や関係団体の皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

令和7年3月

宇陀市長 金剛 一 智

ごあいさつ



令和2年に「宇陀市地域福祉計画及び地域福祉活動計画」を策定し、これを拠りどころとして諸般にわたり福祉活動をしてきました。その後、地域の人口減少・高齢化・過疎化が急激に進み、地域社会の様子や住民のニーズをはじめ、社会保障、社会福祉の諸制度が改革されるなど、地域福祉を取り巻く環境が変化してきました。また、コロナ禍における経済活動抑制の影響を受けて、雇用や収入が不安定であったり生計が苦しい状態にある人々の存在や、高齢者の孤独化・孤立化が深刻な問題として浮き彫りになりました。

こうした変化を踏まえ、地域福祉の向上をめざし、さらに効果的で持続可能な支援体制を整えるために、第2期地域福祉活動計画を策定することとなり、策定に当たっては、策定委員をはじめ、関係団体の皆様にご意見をいただきました。本計画では、これまでの実績をしっかりと受けとめ、地域住民の皆様とともに、より良い福祉社会の実現に向けた具体的な取組を進めていく所存です。

社会福祉協議会では、住民主体の理念に基づき、地域住民及び福祉活動にかかわる関係団体等との協働により、「やさしさと、ぬくもりが一人ひとりを包む地域をめざして」みんなが安心して暮らせるまちづくりのために諸活動を進めてまいります。今後も、互いに支えあいながら住みやすい社会づくりのために、皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本計画の策定にあたり多大なご尽力をいただきました、策定委員会の渡辺委員長はじめ、貴重なご意見・ご提言をいただきました各委員の皆様、そして、ワークショップにご協力いただいた皆様、多くの市民や関係団体の皆様に心よりお礼申し上げます。

令和7年3月

社会福祉法人 宇陀市社会福祉協議会
会 長 喜 多 俊 幸

委員長あいさつ



～第2期宇陀市地域福祉計画・地域福祉活動計画にあたって～

だいぶ以前の話です。あるとき近鉄電車に乗っておりましたところ、ある高齢女性の方が、恐らく顔見知りではない男子高校生に声をかけ、「いまは春休みか」「大学に進学するんか」「大学の次は就職やろ、たいへんやな」と矢継ぎ早に質問を投げ、最後には「何でも家族に相談して、親の言うことは聴かなアカンで」とアドバイスまで送っていました。実は、この高齢女性、乗車前にも駅のホームで、これまた顔見知りではない高齢男性の大きな持ち物に関心を示し、「それ、何に使いはるんですか？」などと声をかけていたのです。男子高校生も高齢男性もその女性の積極的な問いかけに圧倒されながらも非常に真面目に受け答えをしていましたが、私はそのやりとりの光景をみて微笑ましく感じる一方で、見知らぬ人でもどんどん声をかけていく高齢女性のコミュニケーション能力の高さに圧倒されていました。

コロナ禍などを経て地域のつながりの希薄化が進み、このようなやり取りが交わされる機会も少なくなってきていますが、たとえ面識がない人のことでも我が事のように関心を持ち、気軽に声をかけていく営みと、それが自由に交わされるような空間づくりが地域社会には必要なんだと思います。

このたび、市民を対象とした調査、市民参加によるワークショップなどを踏まえ、多くの関係者からなる策定委員会における議論を経て、ここに第2期宇陀市地域福祉計画・地域福祉活動計画が策定されました。とくに策定委員会では、移動支援や身寄りのない人たちへの支援など必ずしも対応が十分ではない課題が話題に上りましたが、会議でのやり取りのなかでそれらを解決するための連携の芽が生まれ出てきたように感じます。

最後になりましたが、本計画策定に尽力されました策定委員会委員の皆様、そして事務局としてご苦労いただいた宇陀市、宇陀市社会福祉協議会の関係各位に感謝申し上げます、ご挨拶といたします。ありがとうございました。

令和7年3月

宇陀市地域福祉計画策定委員会委員長
天理大学人文学部社会福祉学科 教授 渡辺 一城

目次

第1章 計画の基本的な考え方	1
1. 計画策定の背景と趣旨	2
2. 地域福祉とは	5
3. 地域福祉計画および地域福祉活動計画について	6
第2章 宇陀市の地域福祉を取り巻く現状	9
1. 宇陀市の地域の現状	10
2. 各種アンケート調査	18
3. 市民参加型ワークショップ	34
4. 第1期計画の評価	36
5. 総括	48
第3章 計画の基本理念と重点目標	51
1. 計画の基本理念と将来像	52
2. 計画の重点目標と基本施策	53
3. 重層的支援体制整備事業について	54
第4章 重点目標と基本施策の展開	55
重点目標1 必要な情報が届き、あらゆる相談に対応できる仕組みづくり【安心】	56
基本施策(1) 断らない福祉相談支援の推進	56
基本施策(2) 必要な情報と安心が得られるまちづくり	60
基本施策(3) さまざまな権利が護られる共生社会のまちづくり	63
重点目標2 誰もが地域に参加できる仕組みづくり【笑顔】	66
基本施策(1) 地域資源も活かした、移動しやすく、参加しやすい仕組みづくり	66
基本施策(2) 「うだらしい」見守りと声かけのある地域づくり	69
基本施策(3) スポーツ・レクリエーションの振興と健康長寿のまちづくり	71
基本施策(4) 福祉教育の充実と地域の新たな支え手づくり	73
重点目標3 地域のなかで支え合いとつながりを生み出す仕組みづくり【つながり】	76
基本施策(1) 多様な話し合いと働き合いの場や機会づくり	76
基本施策(2) 地域活動の充実とつながり(コーディネート)機能の確保	78
基本施策(3) 災害時も見据えた日常的な連携・支援体制の確立	80
第5章 地域ビジョン	83
大宇陀地域	84
菟田野地域	89
榛原地域	93
室生地域	98
第6章 計画の進行管理	103
1. 計画の進行管理	104
2. 計画の周知	104
3. 各主体の役割と連携	105

資料編	107
1. 宇陀市地域福祉計画推進委員会設置要綱	108
2. 宇陀市地域福祉計画策定委員会設置要綱	110
3. 宇陀市地域福祉計画推進委員名簿	112
4. 宇陀市地域福祉計画策定委員名簿	113
5. 計画策定の経過	115
6. 用語説明	116